

令和3年度森林環境譲与税決算

1. 長崎県森林環境譲与税基金の収支状況

内 容		金 額 (円)	
令和2年度末基金残額	残額	42,110,843	
9月期譲与額	収入	30,347,000	60,284,376
3月期譲与額		29,927,000	
基金運用利息		10,376	
長崎県森林環境譲与税事業実施額	支出	56,259,769	
令和3年度末基金残額	残額	46,135,450	

2. 長崎県森林環境譲与税事業の実績

事業区分	事業名	事業費 (円)			事業概要	主な成果等
		(A)+(B)	(A) うち森林環境譲与税	(B) うち他の財源		
アドバイザー・人材派遣等	地域林政アドバイザー育成	624,460	624,460		新たな森林管理システムの業務に当たる地域林政アドバイザーと市町とのマッチング等を実施	5名の地域林政アドバイザーが9市町において、直接雇用又は委託により「新たな森林管理システム」を推進 (令和3年度末の地域林政アドバイザー登録者数：34名)
市町職員等の研修	新たな森林管理システムモデル推進	5,048,389	5,048,389		新たな森林管理システムの実務研修等を市町職員に対して実施	市町森林経営管理事業（市町が行う森林整備）の業務マニュアルを作成し、市町担当職員に対し、業務に必要な知識・技術向上のための研修会を実施 (実務事務研修開催：11/9, 43名参加)
森林情報の整備	クラウド型森林GIS構築	22,550,000	22,550,000		高度化された森林情報をリアルタイムに共有するため、県が管理する森林GISをクラウド化	県及び市町、林業事業者が森林情報をリアルタイムで共有できる森林GIS（クラウド版）を構築（R3.2月～仮運用開始）
人材育成・担い手対策支援	森林の守り人強化促進	18,224,000	18,224,000		意欲と能力のある林業経営体の育成を図るため、事業者に対して新規参入・生産拡大・雇用拡大・処遇改善に取り組む経費を支援	新規就業者に対する林業装備（チェーンソーや安全ズボン等）の整備や、生産性向上のための測量機器導入等、林業事業者17団体を支援
	意欲と能力を育む林業プログラム推進	15,089,356	9,812,920	5,276,436	意欲と能力のある林業経営体を目指す林業事業者や林業参入事業者に対して技術研修等を実施	林業専門作業員の伐木技術を通じた交流会、林業現場における安全指導研修や林業事業者職員への定着率向上に向けた研修等を実施 (研修等：7回開催, 参加者数延べ220人) (伐木チャンピオンシップ長崎大会開催（11/26日：19名参加）)
計		61,536,205	56,259,769	5,276,436		

- ▶ 長崎県では、県内市町の森林経営管理制度の推進を支援するために、令和3年度は、「森林経営管理制度市町業務マニュアル」を作成。
 - ・ 林業公社分収林をモデル地区に選定し、実際に調査等を実施、マニュアルに反映することでより実務的なマニュアルを作成。
- ▶ 長崎県では、令和2年度からクラウド型森林GISへの移行作業を進め、令和3年度中にシステムを構築。令和4年度中に本格運用。
 - ・ 森林情報をクラウド上で共有することで、情報の更新作業等スムーズになり、リアルタイムの情報を共有可能。
 - ・ 県が一括してセキュリティー対策を実施するため、セキュリティー強化につながる。
 - ・ 利用環境が一元化されるため、市町・事業体への直接指導が容易。
 - ・ 高密度航空レーザー測量の成果をGISに反映。森林資源情報管理のほか路網作成支援等の機能を付加。

□ 令和3年度事業内容

1 「森林経営管理制度市町業務マニュアル」作成

- ・ 市町が実施する新たな森林管理システムを推進するため、市町職員が活用する実務事務マニュアルを作成。

【事業費】5,048千円（全額譲与税）

【実績】・マニュアル作成50部 県内21市町に配布

- ・ 市町実務担当者研修開催：WEB研修
- ・ 林業公社分収林をモデル地区に選定、調査を実施し、より実務的な内容を反映している。



2 「クラウド型森林GISの構築」

- ・ 森林情報をクラウド上でリアルタイムの情報共有が可能。

【事業費】22,550千円（全額譲与税）

【実績】

- ・ クラウド型森林GISシステムの構築
- ・ 高密度航空レーザー測量の解析データをGIS上で共有。

□ 事業スキーム

事業1 「森林経営管理制度市町業務マニュアル」作成：委託



事業2 「クラウド型森林GISの構築」：委託



□ 工夫・留意した点

- (事業1) ・ 林業公社分収林をモデル地区に選定、調査を実施し、より実務的な内容を反映。
- (事業2) ・ 高密度航空レーザー測量の解析データをGIS上で共有。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	60,274千円
②私有林人工林面積(※1)	62,393ha
③人口(※2)	1,312,317人
④林業就業者数(※3)	597人

※1：「2020農林業センサスより」より、※2：「R2年国勢調査」より、
※3：「H27年国勢調査」より

- ▶ 林業を担う人材について、キャリアデザインを考慮した体系的な人材育成カリキュラムを作成するための検討委員会を開催。令和3～5年度で、大学、民間林業コンサル、県内林業事業体の委員を招聘し、10年後を見据えた人材育成プログラムを策定予定。
- ▶ また、フォレストリーダーを対象とした指導者育成研修を実施。
- ▶ さらに、伐木・安全技術向上に向けた林業技術者交流事業（ながさき版伐木チャンピオンシップの開催）を実施。

□ 令和3年度事業内容

1 育成プログラム策定（R3～R5）

- ・ 10年後を見据えた長期的な林業事業体及び林業専門作業員人材育成プログラムを策定するため、検討委員会を開催
- ・ フォレストリーダーを対象とした指導者育成研修を実施。

【事業費】 700千円（全額譲与税）

【実績】 ・検討委員会3回開催、林業事業体及び人材育成の目指す姿・育成すべき必要な人材像を設定

・林業専門作業員スキルアップ研修受講者：7名

2 林業事業体育成（ながさき版伐木チャンピオンシップの開催）

- ・ 伐木や安全の技術向上のための林業技術者の交流・技術研鑽を目的として競技会を開催。

【事業費】 5,930千円（全額譲与税）

【実績】 ・令和3年11月27日（土）長崎県諫早市で開催

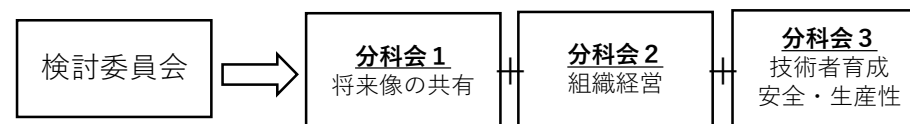
・参加者：19名（コロナ禍のため無観客で実施）



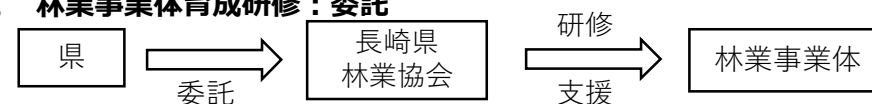
（事業2：伐木チャンピオンシップ）

□ 事業スキーム

1 育成プログラム策定：直営



2 林業事業体育成研修：委託



□ 工夫・留意した点

（事業1）各々の事業体の将来像を設定し、経営者・指導者・技術者それぞれに合わせた人材育成手法を検討、プログラムを策定。

（事業2）森林組合と民間の林業技術者の交流の場として競技会を開催することで、林業界全体の安全意識の向上を図った。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	60,274千円
②私有林人工林面積（※1）	62,393ha
③人口（※2）	1,312,317人
④林業就業者数（※3）	597人

※1：「2020農林業センサスより」より、※2：「R2年国勢調査」より

※3：「H27年国勢調査」より